

スマートエスイー修了生フォローアップ調査 報告

目的: 修了後の業務やキャリアへの影響を把握し、今後のプログラム改善と施策検討に活用

対象者: 2023年度 IoT/AIコース / DXコース修了生

調査期間: 2025年8月4日～8月25日

回答方法: Webアンケート

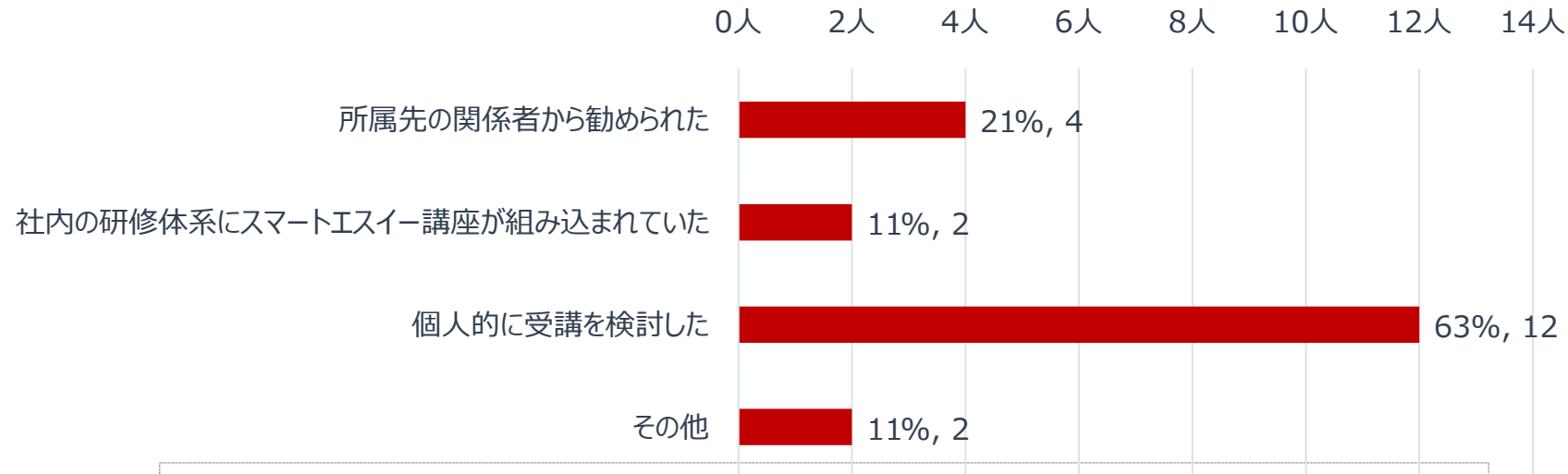
回答者数: 19名



1.受講のきっかけと決定理由

Q1-1. スマートエスイーを受講した経緯を教えてください。（複数選択可）

- 受講動機について、最も多かった回答は「個人的に受講を検討した」（10人）で、回答者の多くが自らの意思で受講を決めていることがわかります。
- 次に多かったのは「所属先の関係者から勧められた」（3人）、そして「社内の研修体系にスマートエスイー講座が組み込まれていた」（2人）でした。
- その他、「会社指示」や「上司の勧め」といった組織的な要因で受講した人も複数おり、個人の意思だけでなく、組織の推奨も受講動機となっていることがうかがえます。



「その他」の回答

- 会社指示にて受講
- 所属先の上司に勧められた

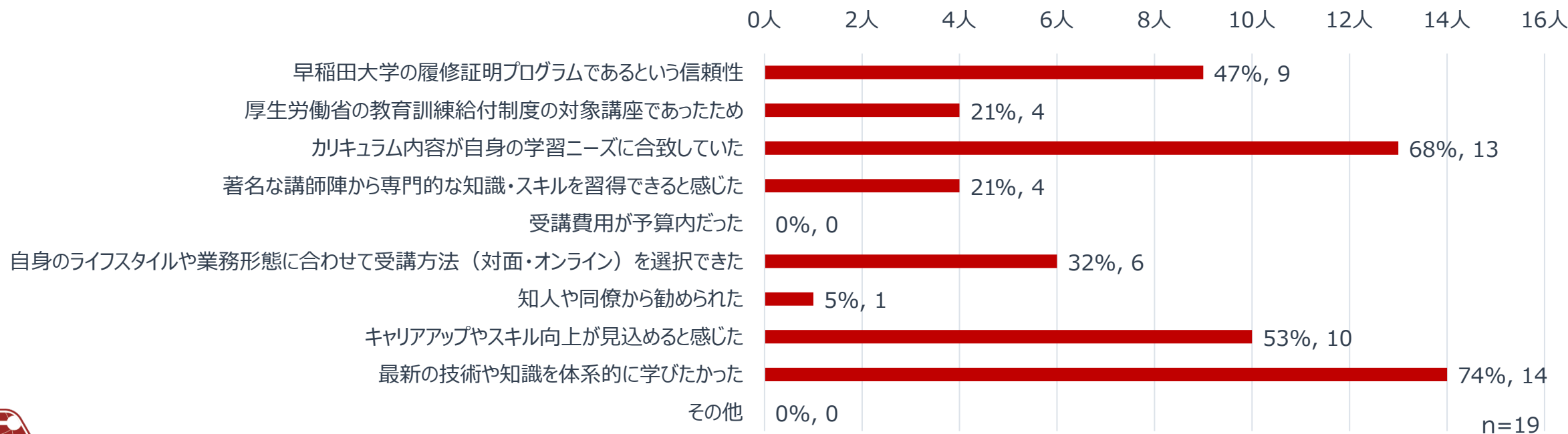
n=19



1.受講のきっかけと決定理由

Q1-2. 受講の決め手となった理由は何ですか。（複数選択可）

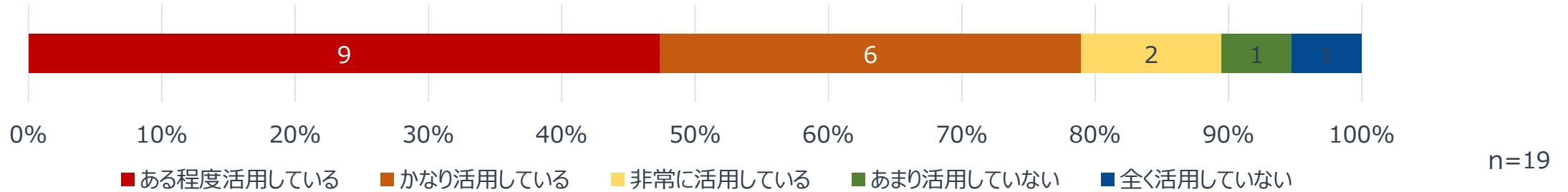
- 受講の決め手として最も多かったのは「最新の技術や知識を体系的に学びたかった」（14人）でした。次いで「カリキュラム内容が自身の学習ニーズに合致していた」（13人）、「キャリアアップやスキル向上が見込めると感じた」（10人）が多くの回答者に選ばれています。
- これらの結果から、回答者は自身の学習意欲やキャリア形成を重視して受講を決めていることがわかります。また、早稲田大学の信頼性や講師の専門性も重要な要因となっています。



2. 受講後の業務への影響

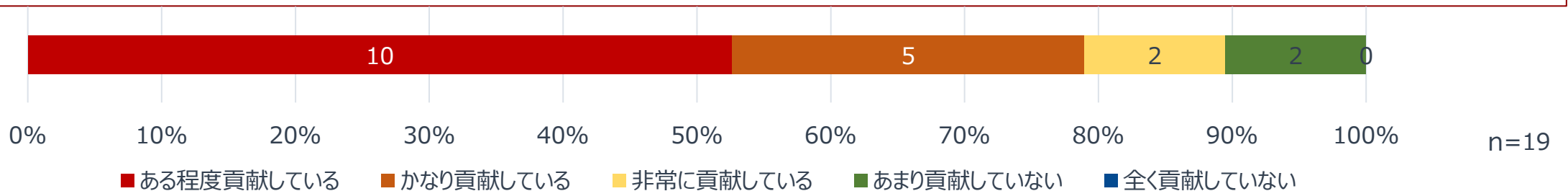
Q2-1. スマートエスイーで学んだ知識・スキルは、現在の仕事でどの程度活用されていますか。

- スマートエスイーで学んだ知識・スキルは、回答者の約9割にあたる17人（89%）が「ある程度」「かなり」「非常に」活用していると回答しました。学習内容が多くの受講者の業務に役立っていることがわかります。



Q2-2. スマートエスイーで習得したスキルは、現在の業務の改善や効率化にどの程度貢献していますか。

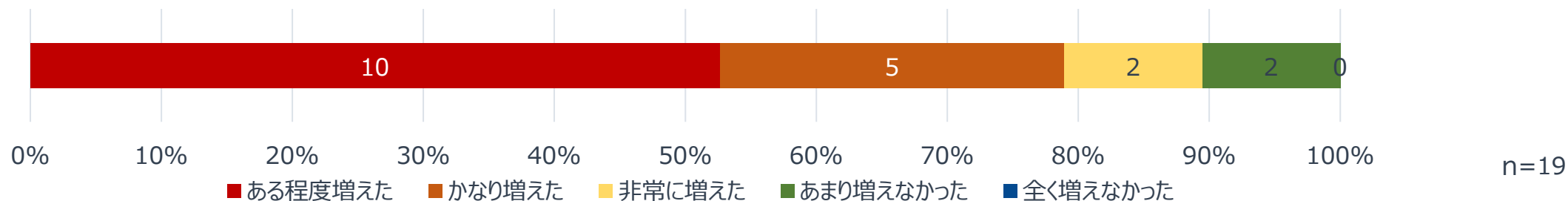
- 習得したスキルが業務の改善や効率化に貢献しているかについては、回答者の約9割にあたる17人（89%）が「ある程度」「かなり」「非常に」貢献していると回答しました。受講者が学習成果を自身の業務に高いレベルで還元できていることを示しています。



2. 受講後の業務への影響

Q2-3. スマートエスイーを受講したことで、新たな業務に挑戦する機会は増えましたか。

- スマートエスイーを受講したことで、新たな業務に挑戦する機会が「ある程度増えた」「かなり増えた」「非常に増えた」と回答した人は計17人（89%）でした。多くの受講者が、学習を通じて新たな機会を得ていることがわかります。



Q2-4. スマートエスイーで習得したスキルを活かして、新規プロジェクトや新たな業務開発を行いましたか。

- 習得したスキルを活かし、新規プロジェクトや業務開発を「行った」と回答した人は10人（53%）、「行っていない」と回答した人は9人（47%）でした。回答者の半数が、受講成果を具体的な業務に活かしていることがわかります。



2. 受講後の業務への影響

Q2-4で「はい」を選んだ方は、具体的にどのようなプロジェクト・新規開発を行ったか教えてください。

- 回答者の具体的なプロジェクトや業務開発は多岐にわたります。最も多く見られた傾向は、学んだAI技術を**社内DX**や**業務改善**に直接活かすケースで、データ分析やAIツール、生成AIアプリケーションの開発などが行われています。
- また、**新規システムの構築**や**大学との共同研究**、**AIスタートアップ企業へのコンサルティング**など、幅広い分野で学習成果を具体的なプロジェクトに結びつけていることがわかります。

回答詳細

- 部内のデータ分析、BIレポート作成。AI浸透活動（DXコース）
- ローコード市民開発、DX人材育成研修（DXコース）
- 社内のDS創出活動（IoT/AIコース）
- 早稲田大学との共同研究プロジェクト（DXコース）
- 仕事ではないのですが、スマートエスイーでの学びをもとに、大学院修士課程に進学しました。（IoT/AIコース）
- 社内で使用するAIツールの開発に携わった。自身の修了制作のテーマを発展させたものだけでなく、そのほかのテーマについてもアドバイスをする立場になった。（IoT/AIコース）
- 生成AIアプリ（IoT/AIコース）
- AIスタートアップ企業 ビジネス開発コンサルティング（IoT/AIコース）
- 社内業務改善のAIエージェント構築（DXコース）
- 事故が起きた時に携帯で速報が送れるアプリを作成した。（DXコース）



2. 受講後の業務への影響

Q2-5. スマートエスイーで学んだ知識・スキルが、現在の仕事でどのように役立っているか、具体的な事例があれば教えてください。

- 受講者は、スマートエスイーで得た知識・スキルを多様な形で業務に活用しています。主な傾向として、学んだ知識を活かして**社内DXやAI関連の取り組みを推進**したり、**技術的なアドバイザー**の役割を担ったりするケースが多く見られます。
- 具体的には、データ分析やAI開発の推進、ローコード開発、DX人材育成の企画立案などが挙げられています。また、IoT、クラウド、AIなどの基礎知識が、様々な部署や専門家との議論のベースとなり、業務の円滑化に貢献していることも示唆されています。

回答詳細

- 会社内に新しい技術を浸透させるために必要な視点（DXコース）
- ニーズベースでの開発計画の立案検討、AI開発推進への参画（IoT/AIコース）
- ローコード市民開発、DX人材育成研修の企画立案（DXコース）
- 業務システムの構築プロジェクトに携わっています。基本設計の段階ですので、スキルが活かしているかという微妙ではありますが、学んだことが根底にあって今の仕事ができていると感じています。（DXコース）
- プロジェクト計画書にGQM+Strategiesの考え方を反映させることが普通に行われていて、その件に際し自分の理解が早かった。（DXコース）
- 現職においては、営業計画及びプロジェクト管理の上で役に立っている。（DXコース）
- 講義で学んだIoT、クラウドやAIの知識が業務で様々な部署と議論する際のベースとして役に立っている。（IoT/AIコース）



2. 受講後の業務への影響

Q2-5. スマートエスイーで学んだ知識・スキルが、現在の仕事でどのように役立っているか、具体的な事例があれば教えてください。

回答詳細（つづき）

- 私は異分野から参加したため、スマートエスイーでの学びはほぼ全てが新鮮で刺激的なものでした。特に、自身が従事している他分野の仕事に没頭する中で、急速に進化を遂げるAIやIoTの最先端技術に触れる貴重な機会となりました。スマートエスイーで得た知識と経験は、私の目標や最終ゴールを明確にし、現在進めている大学院での研究や学びにおける指針ともなっています。（IoT/AIコース）
- AI関連の有識者として、社内での取り組みにおいてアドバイザー的な役割を担っている。（IoT/AIコース）
- 体系的に学習したビジネス開発基礎知識/技術を実践し、スタートアップコンサルティングに役立てている。また、修了証明によって、根拠のない知識ではなく、体系的に学習して裏打ちされた知識として、顧客や同僚からの印象を良くできていると感じる。（IoT/AIコース）
- ビジネスモデルキャンパスや事業の分析等の手法は、多かれ少なかれ日常業務に活用出来ている。考え方が変化した。さらにツールとしてのRPAや最新のAIツールにも違和感なく利用出来るようになっている。（DXコース）
- エンジニアリングにビジネス観点を付けた案件推進活動ができるようになった。例えば、課題に対してステークホルダーを整理したり、多方面からのバリューを考えれるようになった。（DXコース）
- データ分析をする際にデータ科学で学んだことが活かした。（DXコース）

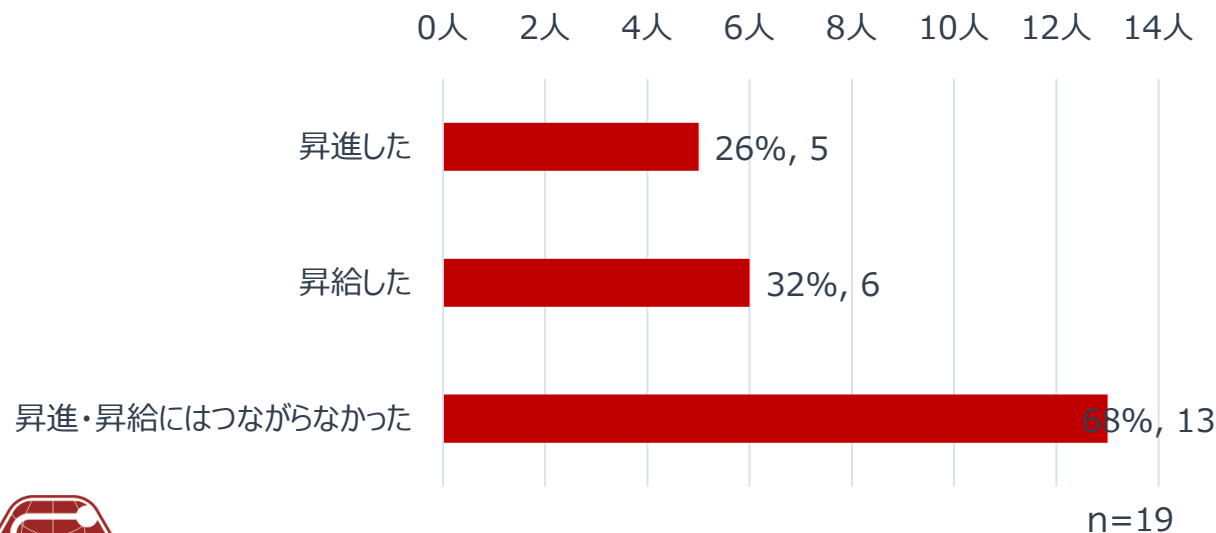


3. 受講後のキャリアへの影響

Q3-1. スマートエスイーの修了は、あなたのキャリアやスキルにどのような影響を与えましたか。

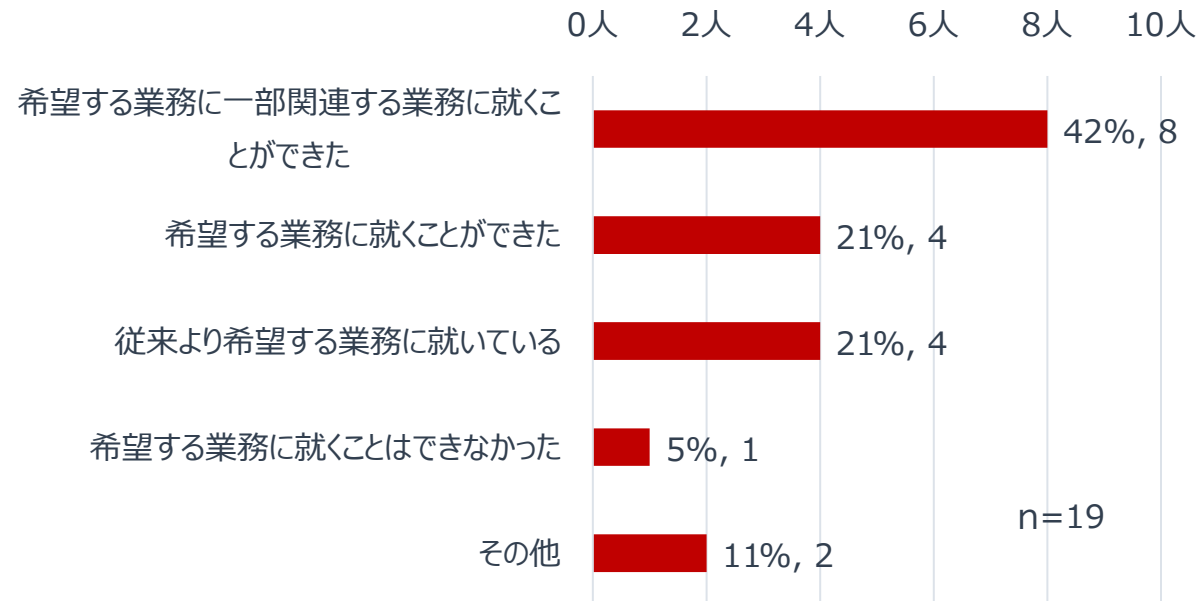
■ 昇進・昇給（複数選択可）

- 昇進または昇給したと回答した人は11人に上り、多くの回答者がキャリアアップを経験しています。
- 一方で、昇進・昇給につながらなかった回答者も13人おり、直接的な影響がないケースも一定数存在します。



■ 希望する業務への従事

- 希望する業務に「一部関連する業務につくことができた」（8人）が最も多く、次いで「希望する業務につくことができた」（4人）と回答しています。合計12人（63%）が希望する業務への異動を実現したことがわかります。

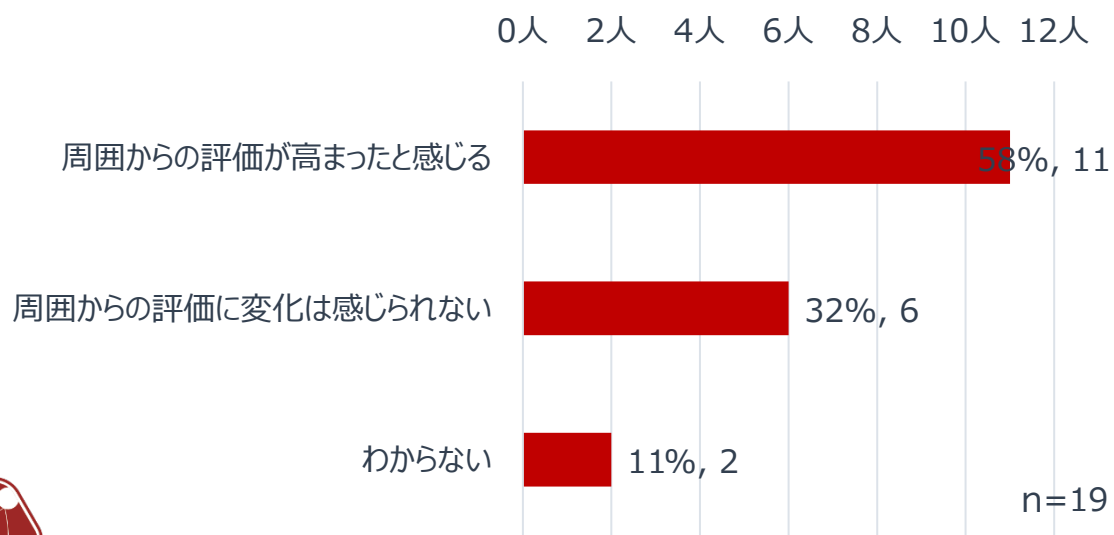


3. 受講後のキャリアへの影響

Q3-1. スマートエスイーの修了は、あなたのキャリアやスキルにどのような影響を与えましたか。

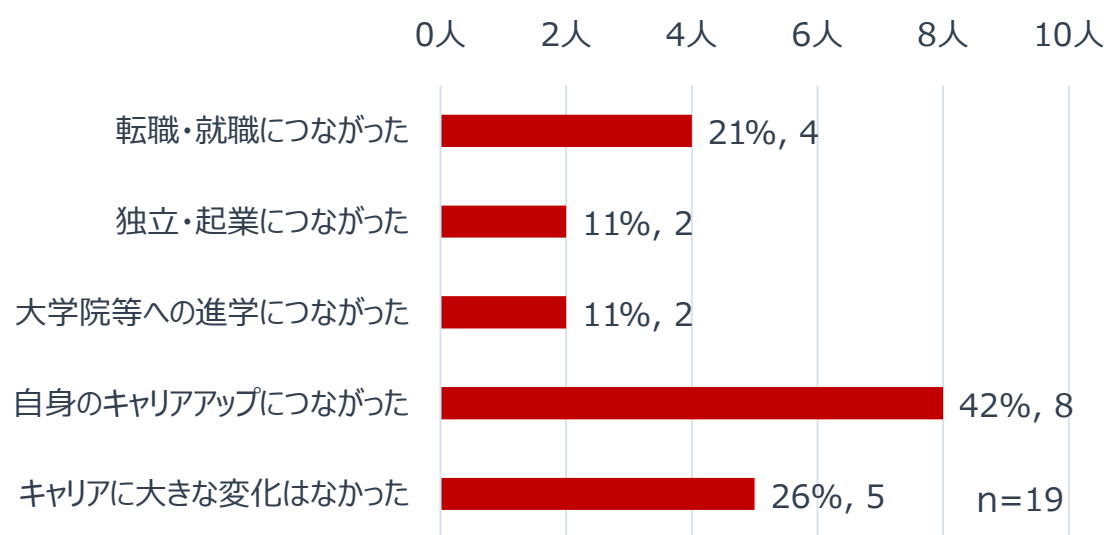
■ 周囲からの評価

- スマートエスイーの修了により、「周囲からの評価が高まった」と感じている人が最も多く、11人（58%）に上りました。一方で、6人（32%）は変化を感じていません。
- 過半数の受講者は、周囲からスキルアップを認められていることがうかがえます。



■ キャリアの変化（複数選択可）

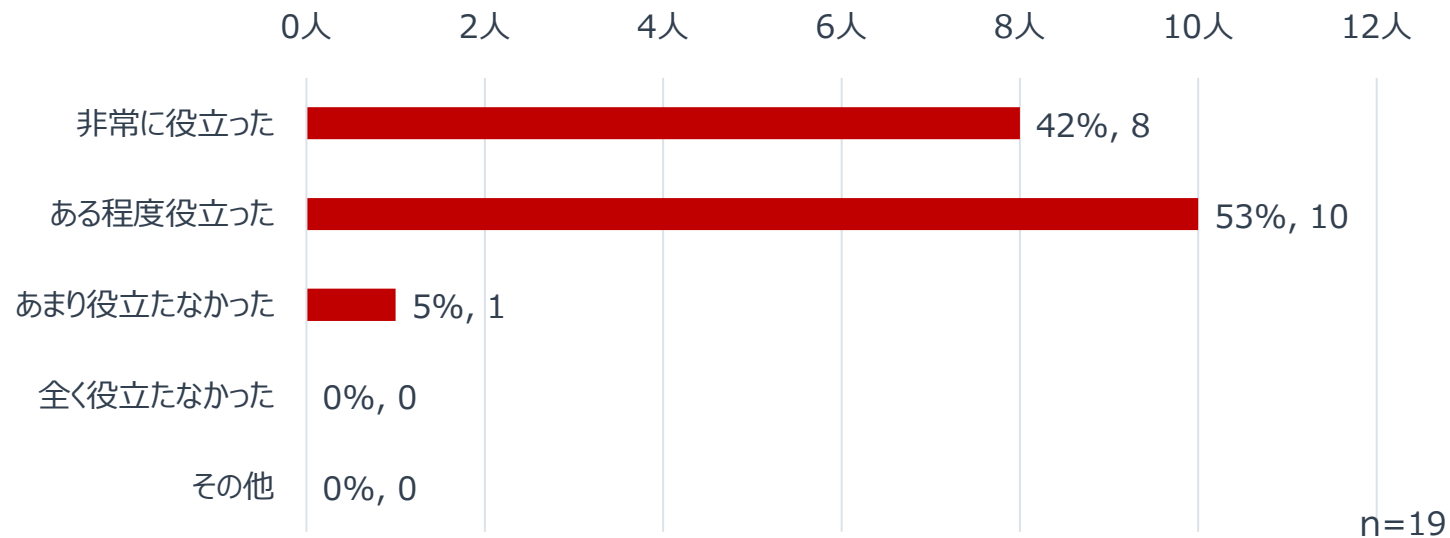
- 「自身のキャリアアップにつながった」と回答した人が最も多く、8人でした。一方で、「キャリアに大きな変化はなかった」と回答した人も5人いました。
- その他、「転職・就職」、「大学院等への進学」、「独立・起業」と、様々な形でキャリアが変化していることがわかります。



4. プログラム受講の満足度と改善点について

Q4-1. スマートエスイープログラムの内容は、現在の仕事やキャリアにとって役立つものでしたか。

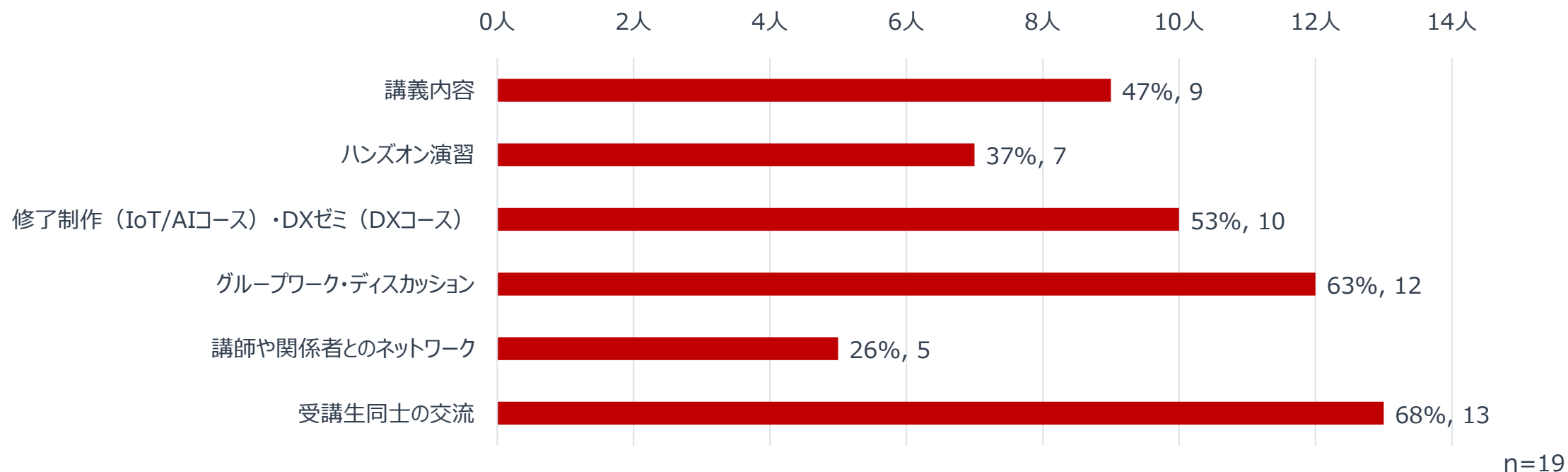
- 回答者の95%にあたる18人が「非常に役立った」または「ある程度役立った」と回答しました。これは、受講者の大多数が、学習内容が自身の仕事やキャリアに役立つと高く評価していることを示しています。



4. プログラム受講の満足度と改善点について

Q4-2. プログラムの中で、特に役立ったと感じる内容は何でしたか。当てはまるものをすべてお選びください。

- 「受講生同士の交流」（13人）が最も役立ったと感じられていました。次いで、「グループワーク・ディスカッション」（12人）と「修了制作（IoT/AIコース）・DXゼミ（DXコース）」（10人）が多くの回答者から選ばれています。
- これらの結果は、単に講義を聴く受動的な学習ではなく、実践的なアウトプットの機会や、受講者間の交流が特に高く評価されていることを示しています。



4. プログラム受講の満足度と改善点について

Q4-3. スマートエスイープログラム全体を通して、特に良かった点、あるいは改善点があれば、具体的にお聞かせください。

- スマートエスイープログラム全体を通して、**学習内容の質とサポート体制**、そして**参加者同士のコミュニティ形成**に高い満足度が示されています。
- 特に評価されているのは、最新技術に触れる機会や、実践的な演習・グループワーク、そして講師や事務局による手厚いサポートです。また、受講後も参加者同士のコミュニティが継続している点も好評でした。
- 改善点としては、特定のテーマをより深く掘り下げる講義や、修了後も継続的に参加できる研究会のようなコミュニティの仕組みを求める意見がありました。また、学びがビジネスや資格、キャリアに直接結びつくような構成への期待も示されています。

回答詳細

- 講師及び研究者や一般企業の方々から最新の知識や技術、状況に触れる事が出来た事は非常に良かったです。（DXコース）
- グループワークとディスカッションに先生も交えて話ができたこと（DXコース）
- （良かった点）プログラム内容は、未経験者でも無理なく理解できる難易度に設計されており、安心して参加できる構成となっていました。また、より深く学びたい参加者に対しても、サポーターが適切に対応できる体制が整っており、学習の幅を広げられる点が印象的でした。さらに、プログラム終了後も参加者同士のコミュニティが継続的に形成されていることから、学びの継続やネットワークづくりの機会が確保されている点も非常に良かったです。（DXコース）
- （改善点）プログラム全体の内容がやや浅く広く感じられたため、いくつかのテーマに絞って深掘りする「ポイント講義」を取り入れることで、より学びが深まると感じました。また、AIやIT関連資格へのステップにつながるような講義構成とすることで、学びを継続したい参加者にとって今後の展開やキャリアアップの可能性を広げる効果も期待できると思います。（DXコース）



4. プログラム受講の満足度と改善点について

Q4-3. スマートエスイープログラム全体を通して、特に良かった点、あるいは改善点があれば、具体的にお聞かせください。

回答詳細（つづき）

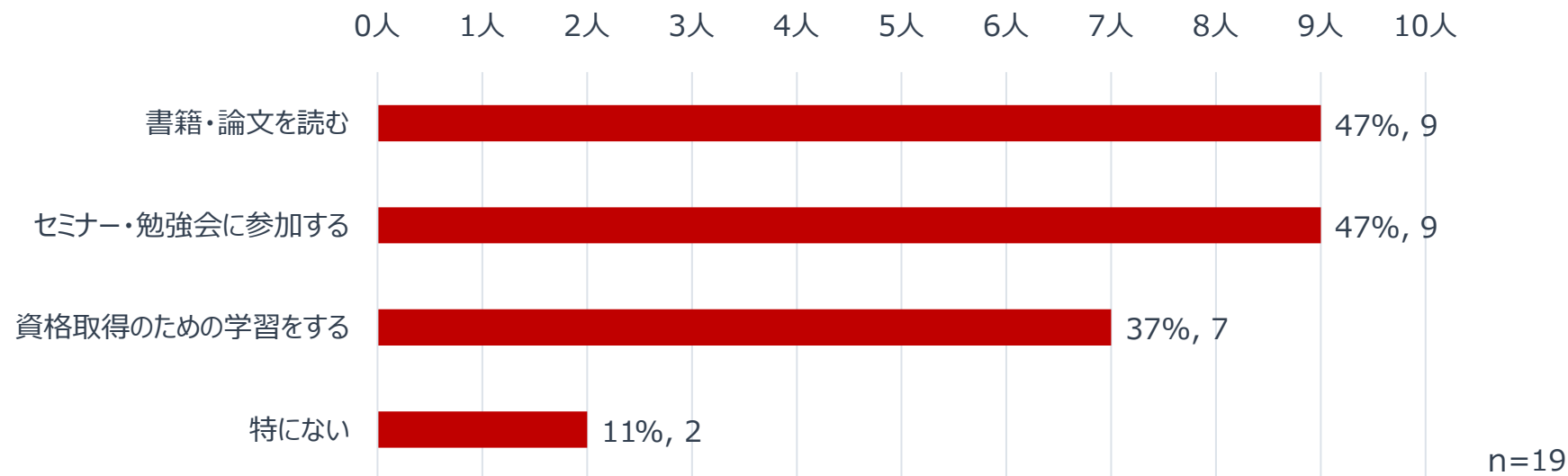
- プロジェクトマネジメントについて学習したかった（DXコース）
- 個人修了制作のサポート体制が充実し受講生の発表分野也多岐に渡っているのは非常に良い点であると感じました。（IoT/AIコース）
- スマートエスイープログラムを通じて、最先端の技術と知識に触れる貴重な機会を得られ、非常に有意義な経験となりました。教授陣の高度なアカデミックな講義を身近に感じることができ、また第一線で活躍する同級生の声を直接聞くことで、変化する社会のリアルを実感できました。日本では、参加していても「私（女性・高齢・異分野）はターゲットではないから、ひっそり聞いていなければならない」という空気を感じるプログラムが多い中で、スマートエスイーでは心から仲間に迎え入れられた実感があり、とても楽しく学ぶことができました。（IoT/AIコース）
- 座学だけでなく、演習、グループワーク、修了制作を通じて、実際に自分自身がものづくりが出来るという自信が付いた。講義だけの学びではなく、受講以後も技術情報等を目にしても内容の理解度・解像度が上がり、自身の業務の課題にどう応用できるかという考えにつながりやすくなった。（IoT/AIコース）
- 継続して早大の研究室や先生方、スマートエスイー事務局と連携した活動を行いたかったが、修了後は単発イベントが多く、期待していた成果は得られなかった。修了生が所属できるような研究会もようなスキームがあるといいが、修了生という漠然とした無組織集団になっているのがもったいなく、残念に感じている。（IoT/AIコース）
- 年齢的にも幅広く、人数的にも顔を覚えられる程度の受講生がいて、グループワークは楽しかった。日々の業務でもDXビジネス視点の見方の基礎を習得出来ていると感じている。（DXコース）
- 社会人の学びの場として、これ以上の環境はないように思います。学習コンテンツもそうですが、受講生のみなさんとの関係性が特に良かったと感じています。（DXコース）
- ビジネスに直結するか最先端技術につながるものであれば、なおよいかと思います。（IoT/AIコース）



5. 修了後の継続学習について

Q5-1. スマートエスイーで学んだことに関連し、修了後に自主的に学習していることはありますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- スマートエスイーの修了後、「書籍・論文を読む」と「セミナー・勉強会に参加する」が最も多く、いずれも9人（47%）が自主的に学習を継続しています。次いで「資格取得のための学習をする」（7人）が挙げられており、多くの受講者が自律的に学びを続けていることがわかります。

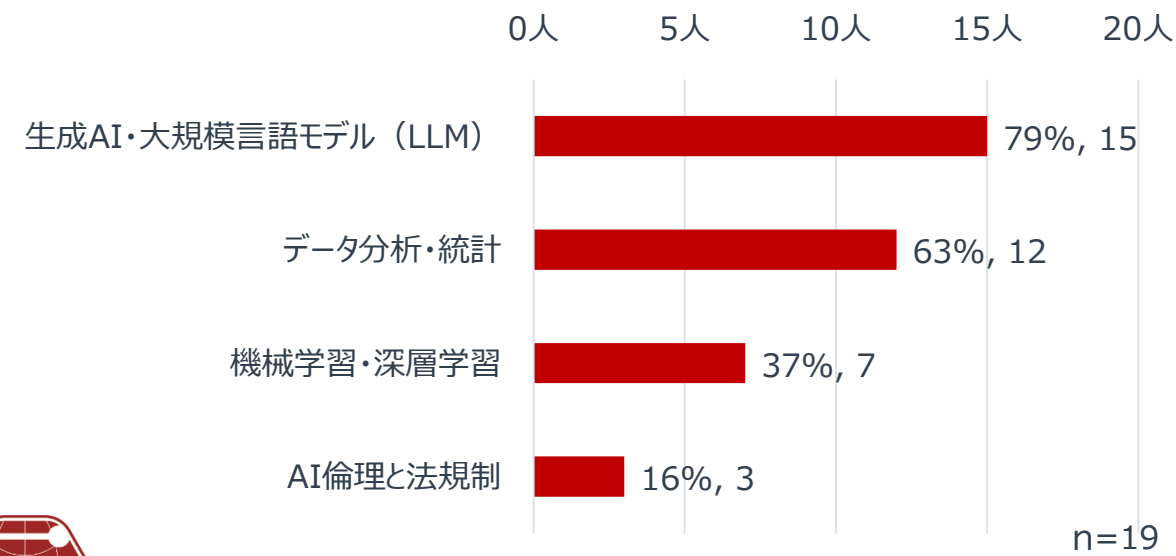


5. 修了後の継続学習について

Q5-2. 現在はどうのようなテーマやスキル習得に関心がありますか。ご自身の興味や業務に関連する分野をお選びください。

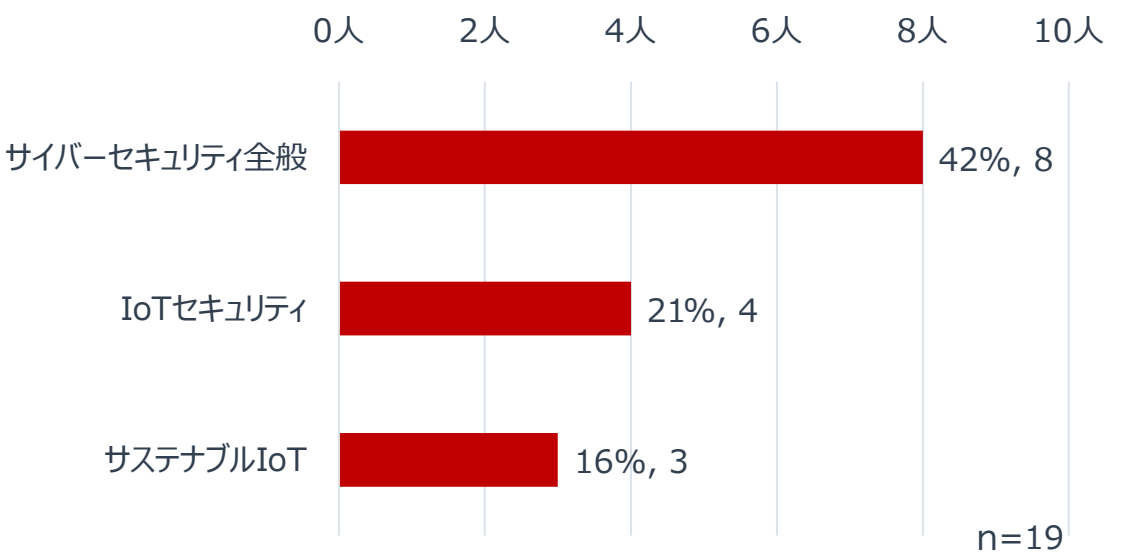
■ AI・データサイエンス関連（複数選択可）

- この分野では、「生成AI・大規模言語モデル」（15人）への関心が最も高く、「データ分析・統計」（12人）と合わせて多くの回答者が最新のAI技術やデータ活用に強い関心を持っていることがわかります。



■ IoT・セキュリティ関連（複数選択可）

- 「サイバーセキュリティ全般」（8人）への関心が最も高く、IoTの活用と同時にセキュリティ面への意識が高まっていることがうかがえます。「IoTセキュリティ」（4人）や「サステナブルIoT」（3人）も関心を集めています。

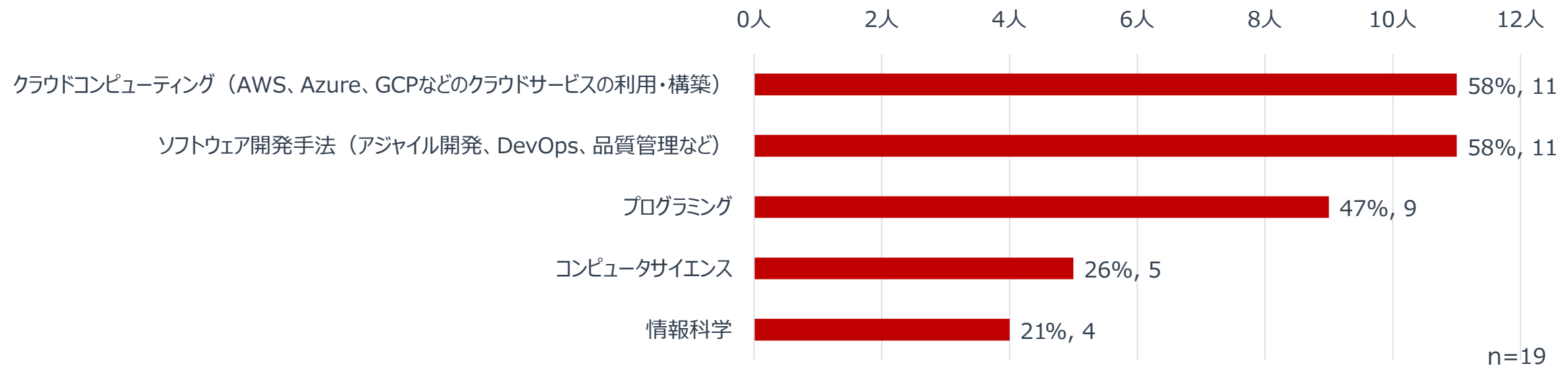


5. 修了後の継続学習について

Q5-2. 現在はどのようなテーマやスキル習得に関心がありますか。ご自身の興味や業務に関連する分野をお選びください。

■ 基礎技術・開発関連（複数選択可）

- 「クラウドコンピューティング」と「ソフトウェア開発手法」が同率で最も多く（各11人）、現代のIT開発を支えるインフラや手法への関心が高いことがわかります。「プログラミング」（9人）への関心も続いています。

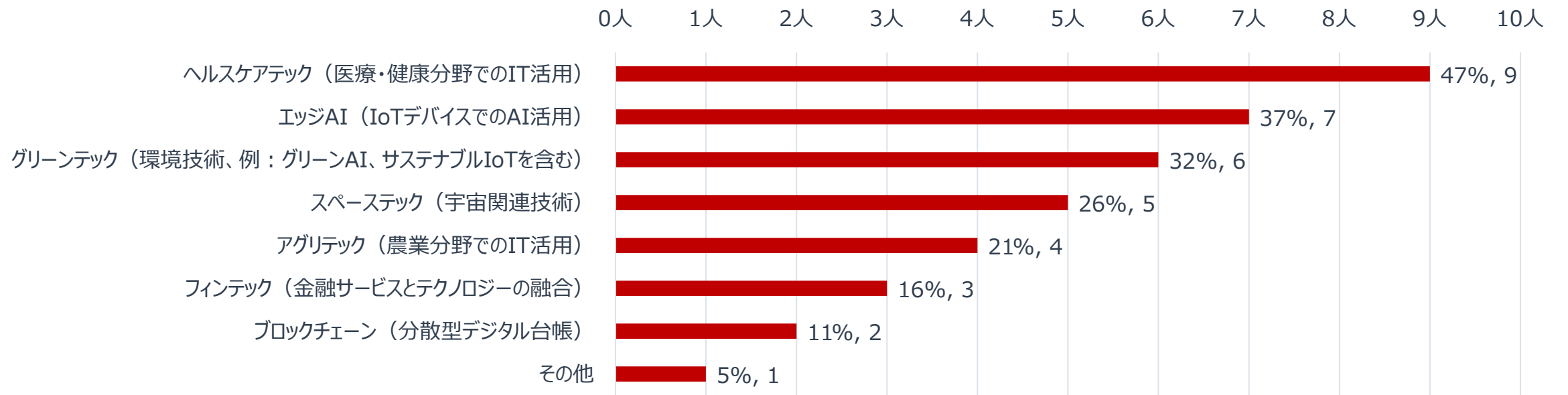


5. 修了後の継続学習について

Q5-2. 現在はどうのようなテーマやスキル習得に関心がありますか。ご自身の興味や業務に関連する分野をお選びください。

■ 応用技術・特定産業分野（複数選択可）

- 「ヘルスケアテック」（9人）が最も関心を集めており、特定の産業分野へのAIやIoTの応用に関心が向かっています。次いで「エッジAI」（7人）や「グリーンテック」（6人）が挙げられています。



「その他」の回答

- ソフトウェア/システム開発へのAI応用

n=19

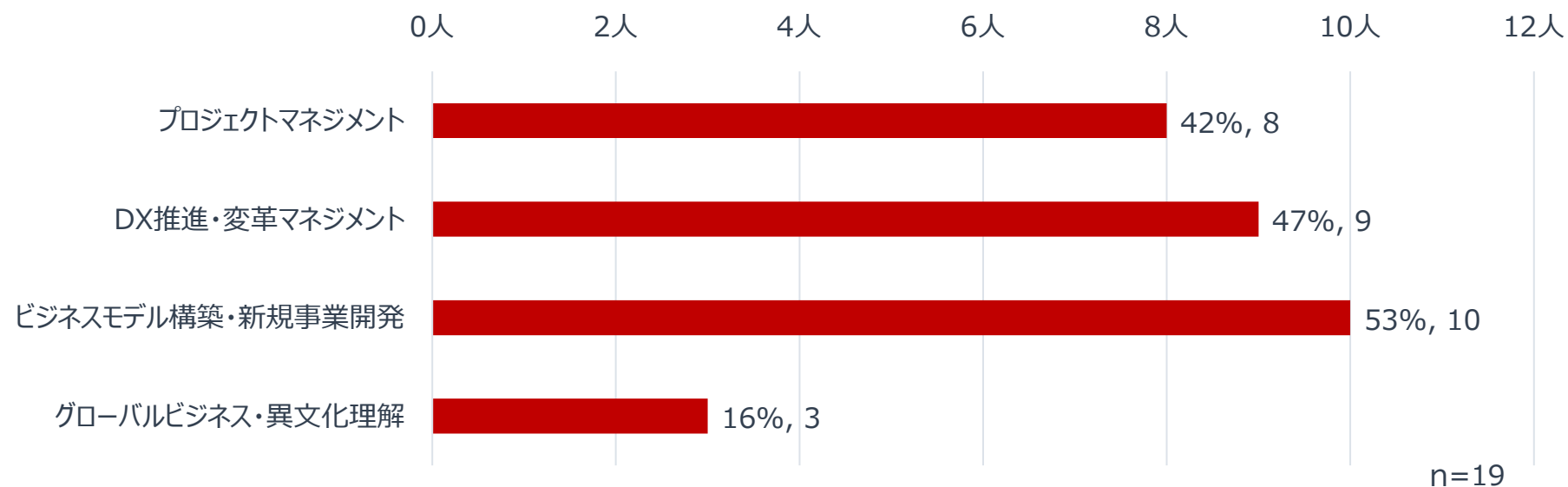


5. 修了後の継続学習について

Q5-2. 現在はどのようなテーマやスキル習得に関心がありますか。ご自身の興味や業務に関連する分野をお選びください。

■ マネジメント・その他（複数選択可）

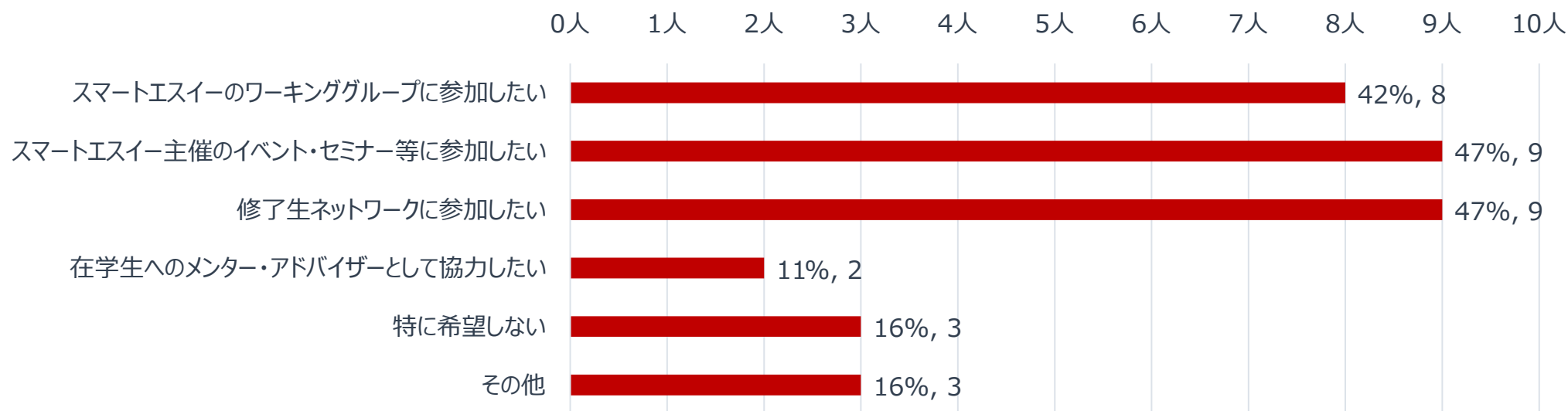
- 「ビジネスモデル構築・新規事業開発」（10人）が最も多く、「DX推進・変革マネジメント」（9人）と合わせて、技術習得だけでなくビジネス面での活用やマネジメントへの関心が高いことが示されています。



6. 修了後の連携と今後の期待について

Q6-1. 修了後、スマートエスイーとどのような形で関わりたいと思いますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- 修了後、スマートエスイーとの関わりについて、「スマートエスイー主催のイベント・セミナー等に参加したい」と「修了生ネットワークに参加したい」が最も多く、いずれも9人が回答しています。また、「スマートエスイーのワーキンググループに参加したい」という回答も8人おり、多くの回答者が今後の活動に対して積極的に関心を持っていることがわかります。



「その他」の回答

- 会社の後輩に受講を勧めたい
- 関わりたい気持ちは大きいですが、公務員なのでちょっと難しいかもと考えている。
- イベントやセミナーは無数に溢れているので、例えば修了生ならではの実績作りなどができることを期待していた。

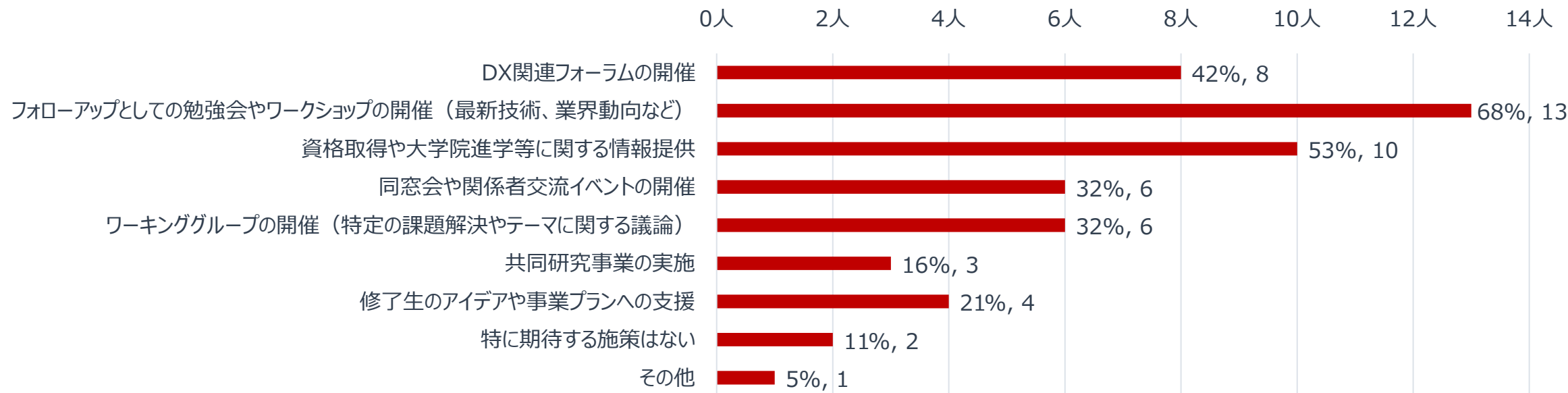
n=19



6. 修了後の連携と今後の期待について

Q6-2. 今後、スマートエスイーに期待する施策はありますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- 今後のスマートエスイーに期待する施策として、「フォローアップとしての勉強会やワークショップの開催」が最も多く、13人が回答しました。次いで、「資格取得や大学院進学等に関する情報提供」（10人）と「DX関連フォーラムの開催」（8人）が多くの回答者から選ばれています。
- これらの結果は、受講者が修了後も継続的な学習やキャリア形成を強く望んでいることを示唆しています。



「その他」の回答

- 起業に興味がない身からすると、研究支援が欲しかったと感じる。修了後にスマートエスイー繋がりで講師の研究室に所属し、情報処理学会などに論文を出しているが、特にスマートエスイーとしての補助はなく、残念に感じた。漠然としたセミナーの開催ではなく、希望者への1on1などのアフターケアがなかったと感じた。

n=19

